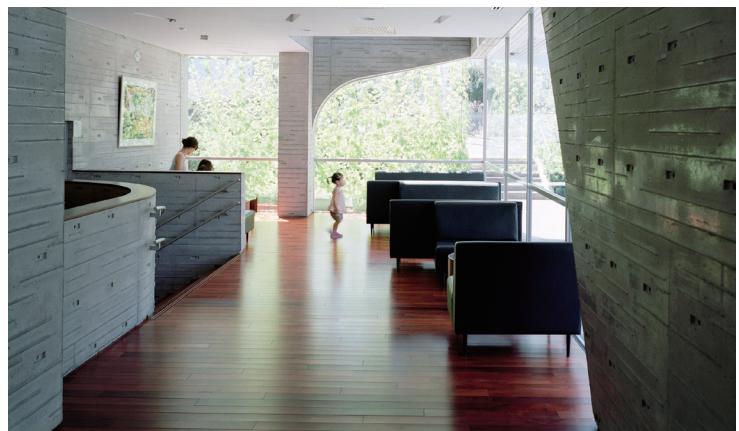




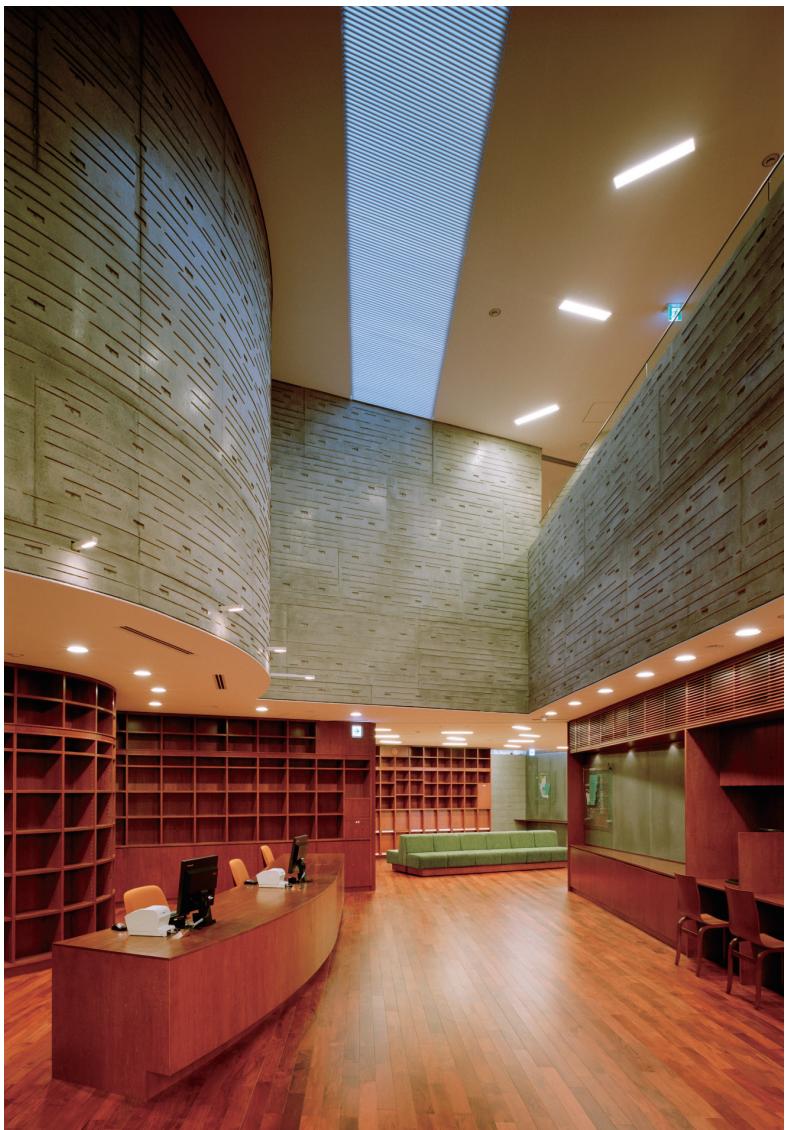
なつかしい未来／人々の記憶にある風景・21世紀型の環境建築 — Nostalgic Future —

敷地は小さな丘であった。その丘で遊んで育った人々の記憶を建築として再構築しました。敷地の周囲を巡る約一層分の高低差を利用し、建物の周囲に今までなかつた歩道や植栽を巡らして環境を改善すると共に、建物の屋根を起伏のついた緑化で覆い、土地の記憶を蘇らせると同時に、都市のヒートアイランド化を防ぐデザインとしました。

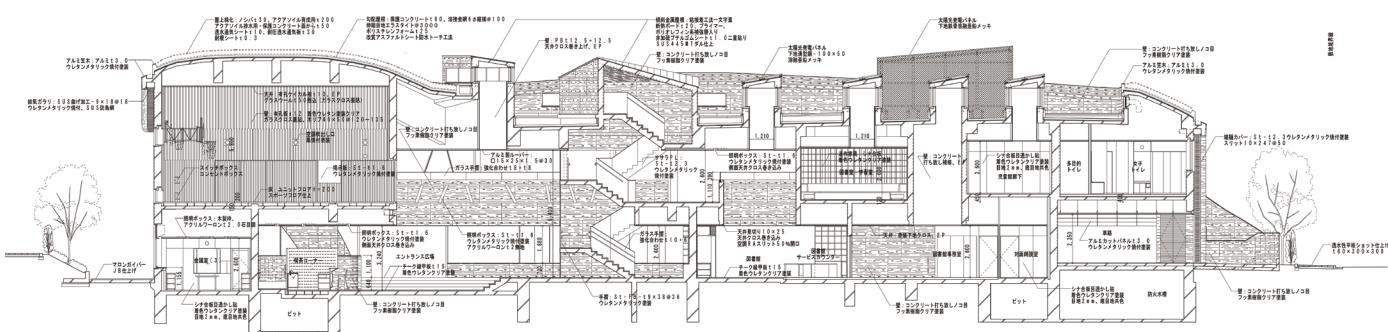


エントランス広場を中心喫茶コーナー、ラウンジ、ギャラリー、調理室 + 会議室が連続し、様々な機能を誘発

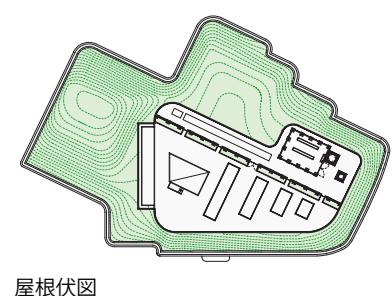
階段上をステージとし、展示ギャラリー（写真右）の移動壁を収納してエントランス広場と一体的に活用し、ミニコンサート（ジャズ、和太鼓など）が行われています。皆が自分にあった空間を見つけて過ごせ、喫茶、学習、会議など多様などで日々賑わう。児童館や図書館など施設全体が開放的に繋がることで、子供の声、他の人々の様子、活動を感じられ、新たな交流が誘発される地域コミュニティの中にふさわしい構成となっています。



子供の声、他の人々の様子、活動を感じられ、新たな交流が誘発される地域コミュニティの中心にふさわしい構成となっています。

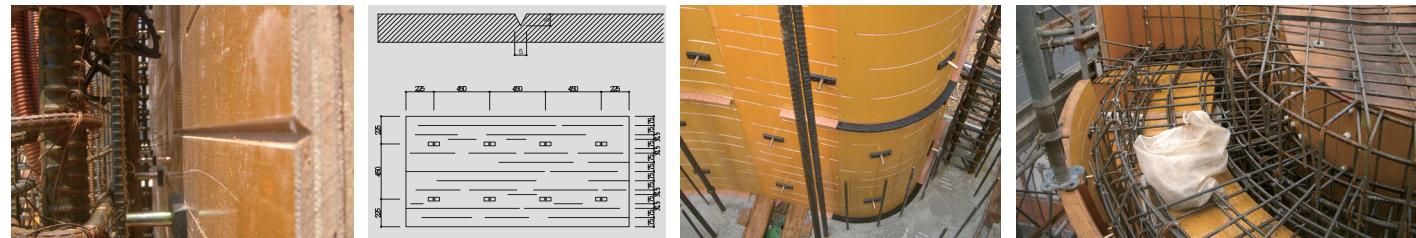
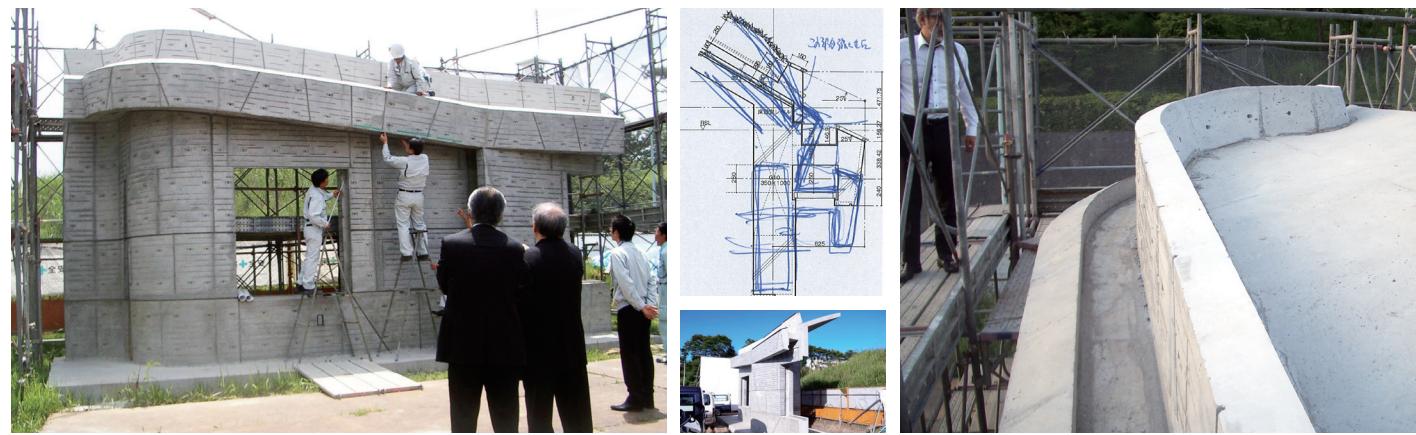


用途：コミュニティセンター、児童館、図書館
敷地面積：2,658.88m²
建築面積：1,423.82m²
延床面積：2,601.84m²

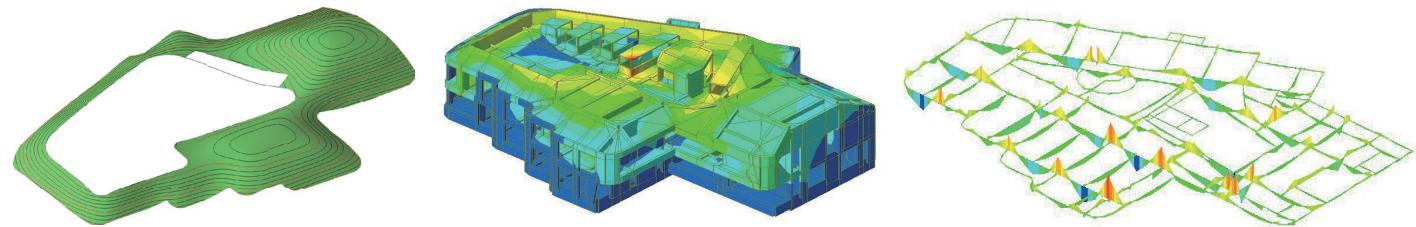


モックアップによる検証

屋上の軒先の高さのプロポーションや機能、人の目線から見たときになだらかに感じて緑の丘が良く見えるか等を検証した。



3次元曲面屋根、軒先、壁面の施工



市民の人たちによって機能を超えた新しい使い方が行われています。



国内外の様々な雑誌に掲載され、グッドデザイン賞をはじめとした高い評価を受けています

